



下和泉小だより

横浜市立下和泉小学校

副校長 玉置 智子

昨年の今頃は全国的に大きな寒波に見舞われ、下和泉のまちにも雪が降りました。子どもたちにとっては、またとない雪遊びのプレゼントでしたが、大人にとってみると雪かきや交通機関の乱れに苦労した数日間でした。今年かというと10年に一度の最強寒波と言われ、各地で大雪になっています。横浜にもささやかな初雪の便りはありましたが、降雨もほとんどなく、乾いた寒い日が続いております。乾燥が続くと気になるのは、インフルエンザです。全国的には警報が発令されるほどの猛威を振るっていますが、幸い、本校では罹患による欠席は少なく、日頃のご家庭における健康管理・衛生管理の賜物と感謝しております。今年は、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時感染が出るケースも報告されています。学校でも引き続き健康管理に留意してまいります。ご家庭でも、地域の皆様におかれましても、体調管理に十分なお配慮をお願いします。



さて、私は着任して2年目となりますが、下和泉小学校は本当にたくさんの皆様に見守られ、支えられている学校だと常々感じております。昨年の雪の際、地域・保護者の皆様のお力を貸していただいた「雪かき」もその一つでしたが、風が強く吹いた後、学校周りに散らかった木切れやごみをそっと片付けてくださった地域の皆様、本当にありがたく思います。また、登下校の安全面の見守りにおいては、地域の見守り隊の皆様、PTA 本部役員、PTA 校外委員、そして教職員が協働して子どもたちの登下校を見守っていく体制がしっかりと確立されているのも素晴らしいです。PTA 本部役員、PTA



校外委員の方々を中心となり警察や区役所に掛け合い、グリーンベルトが分かりやすくなり、「スクールゾーン」の文字も分かりやすくなりました。これまで幾度となく危険性を訴え、根気強く関係機関に投げかけ続けてくれた結果だと感謝しております。子どもたちもグリーンベルトの歩き方やグリーンベルトでの待ち方が定着してきています。

そして、本年度に引き続き令和5年度も下和泉小学校の学区に電柱巻標識が設置される予定です。こちらもPTA 校外委員の方々が見地状況を把握し、劣化した電柱幕の撤去をしながら学区の電柱を一本一本点検してくれています。現在電柱幕は12本ですが、令和5年度は27本の設置場所が確保されました。



下和泉小学校を見守り続けてくださっているたくさんの皆様と一緒に、これからも児童の安全教育・安全学習に一層力を入れてまいりたいと思います。